

令和5年度 こころのケアシンポジウムの開催結果

兵庫県こころのケアセンターでは、こころのケアシンポジウムにおいて、「こころのケア」に関する先進的な事例等を情報発信しています。

今年度は、治療や相談の現場に携わるすべての支援者・治療者・教育者らがトラウマインフォームドケアの知識やその可能性について理解する一助になればと考え、トラウマインフォームドケアをテーマとして、研究報告、基調講演、パネルディスカッションを実施しました。

「こころのケア」シンポジウム ～トラウマインフォームドケアを考える～

- 1 日 時：令和5年11月17日（金）13:30～16:30
- 2 場 所：兵庫県こころのケアセンター大研修室及びオンライン配信
- 3 参加者数：約250人（医療・保健・福祉・教育関係、自治体職員など）
- 4 内 容：

開会あいさつ

亀岡 智美 兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長

研究報告

「児童福祉領域の支援者へのトラウマインフォームドケア普及に関する研究 ～研修のあり方の検証を中心に～」

酒井 佐枝子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹

虐待を受けた児童の増加を背景として、子どもが生活する環境全体へのトラウマインフォームドケア（TIC）の普及を図るため、児童福祉に関わる支援者がTICを理解し実践し続けるたゆまぬ行程を生み出す研修の在り方を検証した研究内容が報告されました。

開発した研修プログラムの受講により、支援者や職場環境の変化が示唆されるとともに、TICが定着するための課題も明らかとなりました。更なる内容の精査や研修の対象者の選定などを含めた研修形態の在り方を検討すると共に、学びの継続により職場内の安全安心の風土作りが求められると締め括られました。

基調講演

「トラウマインフォームドケアの普及に向けて」

西 大輔 東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 教授

子ども等の支援対象者は、逆境的小児期体験（ACEs）を含む広義のトラウマ体験を経験している人が非常に多いこと、その体験は心身への広範な悪影響を与え、他人に話されにくく症状も見えにくいこと等を認識し、その影響に配慮して行動することで更なる傷つきを防ぐというトラウマインフォームドケアの実践の基本について、順を追って丁寧に説明いただきました。その後、西教授が中心となって開発された精神科看護師向け動画研修の受講結果に基づく考察や国内でのTICの認知度等の実態調査結果の報告がありました。職種別の研修動画の効果測定も含め、TICの普及の阻害要因・促進要因を特定し進めていくことが重要であると結論付けられました。

パネルディスカッション

テーマ：トラウマインフォームドケア

（コーディネーター）

亀岡 智美 兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長

（パネリスト）

西 大輔 東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 教授
酒井 佐枝子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹

閉会あいさつ

加藤 寛 兵庫県こころのケアセンター センター長

パネルディスカッションでは、研究報告及び基調講演を踏まえ、日本で適した普及方法や研修動画内容の選定方法について意見交換がなされた後、トラウマインフォームドケア（TIC）な対応をすることは専門職にとっても、子どもの生活を支える幅広い支援者にとっても非常に難しい側面があるが、支援者側の優れた実践者とその方々を支える外部のアドバイザーで好事例を紡ぎ出していければ、TICの普及が進むのではないかと、本日の二人のパネリストの今後の活躍にも期待されると締め括られました。



5 アンケート結果（会場及びオンラインの合計）

(1) シンポジウムの開催は何で知りましたか

選択肢	構成比 (%)
チラシ（勤務先で入手）	68.9
チラシ（勤務先以外で入手）	5.9
ホームページ	19.3
新聞	1.7
その他	4.2
計	100.0

(2) 職種

選択肢	構成比 (%)
会社員	1.7
福祉職	39.5
保健医療職	17.6
教育職	5.0
行政	22.7
消防・警察	0.8
その他の職種	5.0
主婦	1.7
学生	0.8
無職	5.0
計	100.0

(3) 兵庫県内、県外

選択肢	構成比 (%)
県内	38.7
県外	61.3
計	100.0

(4) シンポジウムの内容

① 研究報告

選択肢	構成比 (%)
よかった・まあよかった	98.3
あまりよくなかった	1.7
計	100.0

② 基調講演

選択肢	構成比 (%)
よかった・まあよかった	97.5
あまりよくなかった	2.5
計	100.0

③ パネルディスカッション

選択肢	構成比 (%)
よかった・まあよかった	96.6
あまりよくなかった	3.4
計	100.0